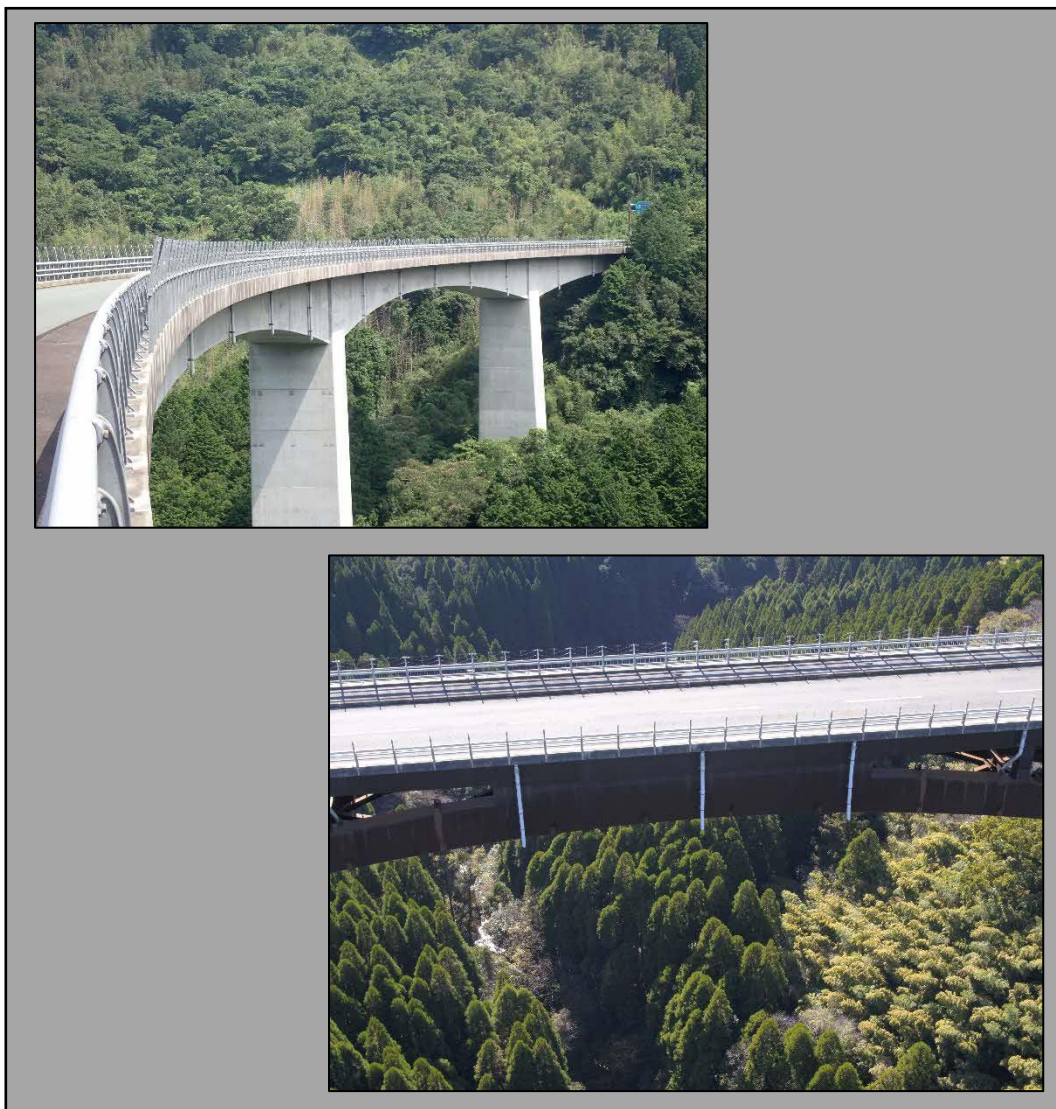


御船町橋梁長寿命化修繕計画



令和5年3月改定



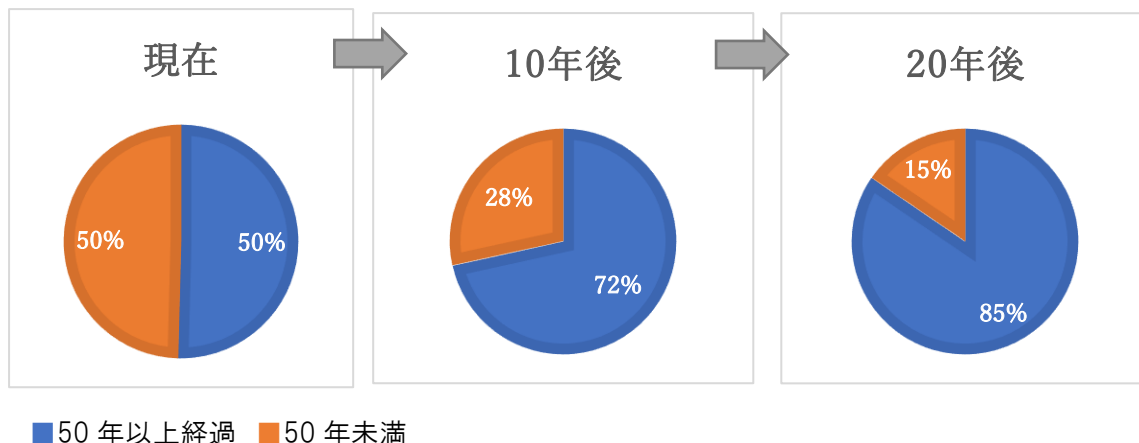
御 船 町 建 設 課

目 次

1. 長寿命化修繕計画の背景と目的 -----	1
2. 御船町の橋梁の現状 -----	2
3. 長寿命化修繕計画の基本方針 -----	3
3-1 老朽化対策における基本方針 -----	3
3-2 新技術の活用方針 -----	4
3-3 集約化・撤去に関する具体的な方針 -----	6
3-4 費用の縮減に関する具体的な方針 -----	6
4. 修繕等に関する優先順位 -----	7
5. 個別橋梁の修繕計画一覧 -----	10

1. 長寿命化修繕計画の背景と目的

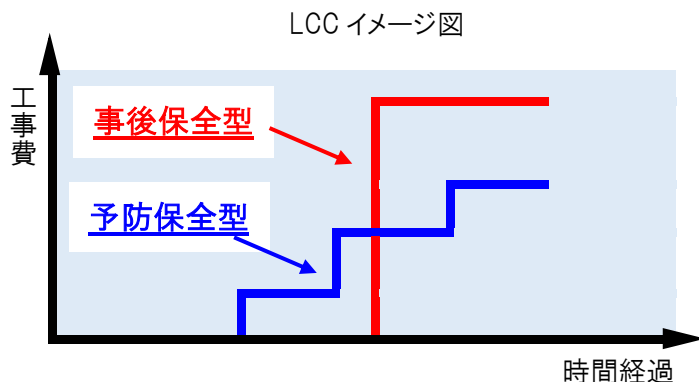
御船町が管理している道路橋は、現時点で 123 橋あります。このうち 46%の橋梁が 1955 年～1973 年の高度成長期に建設されました。また、建設後 50 年以上を経過した橋梁の割合は、現在約 50%ですが、20 年後には約 85%まで急激に増加します。



このように、今後、急速に老朽化が進む橋梁に対して、劣化・損傷が著しくなって対策を行う事後保全型の維持管理を続けた場合、橋梁の修繕・架替えに要する費用が増大することが懸念されます。

そこで、御船町では、人の体と同様に、橋梁も定期的に点検（健康診断）をして、予防保全型の修繕（早期治療）を行うことで、将来的な LCC の低減及び道路交通の安全性の確保を図るために、「橋梁長寿命化修繕計画」を策定しました。

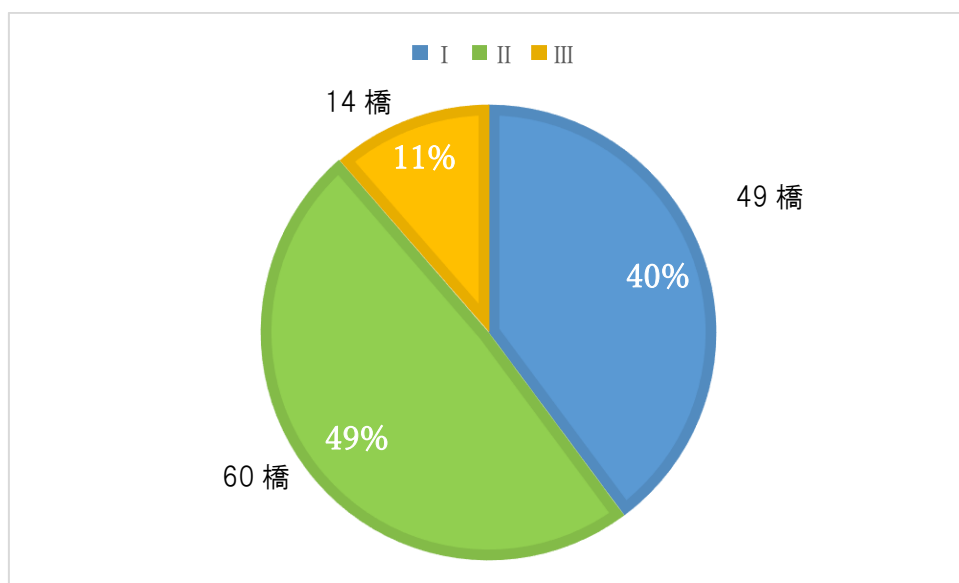
計画策定後、橋梁点検結果及び修繕実績による知見も蓄積されたこと、また近年点検あるいは修繕に関する効果的、効率的な新技術も多く公表、活用されていることから、御船町においてもこれらの新技術活用することを含め、今般、「御船町長寿命化修繕計画」を改訂しました。



2. 御船町の橋梁の現状

現在御船町では 5 年に 1 度の計画的な点検を実施していますが、高度経済成長期に建設された橋梁は高齢化しており、さらに通行車両の増加に伴い、コンクリートあるいは鋼材に損傷が生じ始めています。

現在、御船町が管理する 123 橋の判定区分は下記のとおりです。



判定区分	区分	定義
I	健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態
II	予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
III	早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
IV	緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

3. 長寿命化修繕計画の基本方針

3-1 老朽化対策における基本方針

本計画の運用により、これまでの致命的な損傷を受けてから大規模な補修や架け替えをする「事後保全型」から、損傷が小さいうちに計画的かつ適切な補修をする「予防保全型」に転換することで、より少ない費用で橋梁の長寿命化を図ります。また、点検及び修繕を実施するのにあたっては、効率かつ効果的な新技術を活用し、また、施設の集約化・撤去を推進することで、維持修繕費の縮減を図ります。

橋梁の損傷の事例



完成から 50 年経過した橋梁の路面(床版)の一部が抜け落ち。(日本国内 2020 年)

参照：日経 XTECH



2018 年イタリアのジェノバで崩落した橋梁。1980 年代から橋梁から破片等が落ちてくる状態だったにもかかわらず、放置をした結果、このような大惨事が起きました。

参照：CNN

3-2 新技術の活用方針

近年、維持管理に係る技術開発が積極的に行われています。橋梁の維持管理においても定期点検の効率化や高度化を図る点検支援技術や補修工事の省力化やコスト削減を図るための補修工法など、新技術・新工法が開発されています。

御船町では、持続可能な維持管理を実現するために、定期点検や補修工事の際に新技術等の活用について検討を行い、有効な技術を積極的に取り入れて、効率的・効果的な維持管理ならびにコスト削減を図ります。

点検

御船町が管理する橋梁のうち、座女木大橋、矢形川虹の大橋は山間部に架かる長大橋であり、いずれも高橋脚であることから、その他中規模の橋梁 6 橋を含め計 8 橋を定期点検時に従来の橋梁点検車に替わりドローンを用いた点検を行います。

従来技術
点検車による橋梁点検



新技術の活用
ドローンによる橋梁点検



座女木大橋の点検状況



以上により、令和 13 年度までに、8 橋を対象に 2 回の点検で約 640 万円のコスト削減を目指します。

修繕（工事）

御船町が管理する橋梁の多くは、コンクリート橋であり（全体の 97%）、修繕内容は、ひびわれ補修工、断面修復工が中心となります。

よって、比較的な損傷の軽い 44 橋（グループ P）を対象にひびわれ注入工を従来の低圧注入工法に替わり、新技術のひび割れ補修浸透性エポキシ樹脂塗布工法を採用します。また、床版、主桁等への雨水の侵入防止のための伸縮装置の取替を従来の荷重支持型から伸縮装置及び床版防水の一体型工法を採用することで約 15%のコスト削減を目指します。

ひび割れ補修浸透性エポキシ樹脂塗布工法

従来技術
低圧注入工法

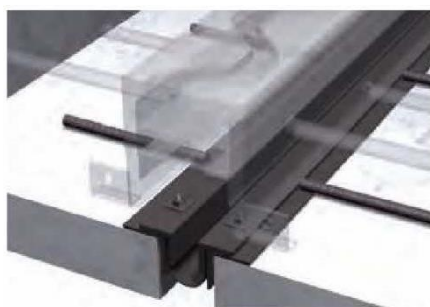


新技術の活用
浸透性エポキシ樹脂塗布工法



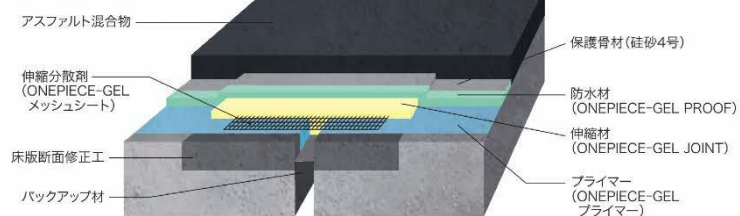
伸縮装置及び床版防水の一体型工法

従来技術
荷重支持型伸縮装置



新技術の活用
床版防水の一体型工法

遊間部模式図



以上により、縮減されるコストは、計 44 橋で、令和 13 年までに、**約 2,350 万円のコスト縮減**を目指します。

3-3 集約化・撤去に関する具体的な方針

限られた予算の中で持続可能な維持管理を行っていくためには、維持管理コストの縮減に加え、将来的に橋梁の集約化や撤去を検討していく必要があります。

集約化・撤去を検討する橋梁は、周辺環境や利用状況等を踏まえて決定します。なお、橋梁の集約化・撤去を行う上では、橋梁を利用する地元住民の方々の理解と協力が必要となります。そのため、地元と合意形成を図りながら、丁寧に検討を進めていきます。

今後御船町では管理する 123 橋のうち、周辺環境及び利用状況を踏まえ、かつ地元住民の合意形成が可能な 2 橋を集約化・撤去を目指します。

3-4 費用の縮減に関する具体的な方針

御船町においてはこれまでに進めてきた計画的かつ予防的な維持管理を更に推進することで、橋梁の健全度を良好な状態に維持し長寿命化すると共に、修繕・架け替えに係る費用を抑え、ライフサイクルコスト（LCC）を縮減ならびに予算の平準化を図ります。

また、予算の平準化にあたっては、定期点検結果による「橋梁の健全度」と橋梁諸元や架橋状況などによる「橋梁の重要度」を考慮して対策の優先順位を決定し、対策時期の調整を行います。

また、新技術の活用、管理にする橋梁の集約化・撤去を実施することで、維持修繕に係るコストを縮減します。

以上の結果、コスト縮減の数値目標は下記のとおりとします。

総事業費の想定縮減額				単位：万円
	R4からR13までの修繕計画			
	補修工事	調査設計	点検	全体事業費
当初計画	69,904	7,600	10,140	87,644
見直し計画	67,554	7,600	9,500	84,654
縮減額	-2,350	0	-640	-2,990

4. 修繕等に関する優先順位

- ①点検結果に基づき、効率的な維持及び修繕が図られるよう必要な措置を講じます。
- ②対策の優先順位は、損傷程度(判定区分)、橋長、第3者被害、ネットワークの重要性（緊急輸送道路）、洗堀等から総合的に判断します。

対策の優先順位

高



優先順位

低

橋梁名	判定区分	橋長	第3者被害	緊急輸送道路	基礎の洗堀
●●橋	Ⅳ	15m以上	対象	該当	あり
○△橋	Ⅲ	15m以上	対象	該当	あり
●○橋	Ⅱ	15m以上	非対象	該当	あり
◇橋	Ⅱ	15m未満	非対象	該当しない	なし
◇△橋	Ⅰ	15m未満	非対象	該当しない	なし
.....	..				



第3者被害対象(北園橋)



橋梁の洗堀状況（町外の橋梁）

橋長 15m（上下）による重要度の仕分け

健全性の診断において、判定区分ⅡまたはⅢと判定された橋梁は措置(対策や監視)を行います。

ただし、橋長 15m未満の橋梁は構造的な特徴として、急激な損傷進行が生じにくい RC 構造の橋や、ボックスカルバート形式の割合が多く、過去の橋梁点検の結果からも経年的な劣化推移が穏やかであるため、橋長 15m以上と 15m未満では措置の方針は異なります。

判定区分Ⅳと診断された橋梁は、橋長に関係なく緊急に対策を行います。

1) 橋長 15m以上の措置

- ◆判定区分Ⅰ：次回点検まで措置は行いません。
- ◆判定区分Ⅱ：次回点検までに対策(補修・補強)を行います。
- ◆判定区分Ⅲ：次回点検までに対策(補修・補強)を行います。なお、判定区分Ⅱの橋梁より優先します。
- ◆判定区分Ⅳ：緊急に対策(補修・補強等)を行います。

2) 橋長 15m未満の措置

- ◆判定区分Ⅰ：次回点検まで措置は行いません。
- ◆判定区分Ⅱ：次回点検まで監視（道路パトロール）を行います。
- ◆判定区分Ⅲ：基礎の洗堀や第三者被害が想定される損傷がある橋梁、緊急輸送道路を構成する橋梁、及び緊急輸送道路を跨ぐ橋梁は対策（補修・補強）を行います。これらに該当しない橋梁は次回点検まで監視（道路パトロールおよび担当職員による点検）を行います。
- ◆判定区分Ⅳ：緊急に対策(補修・補強等)を行います。

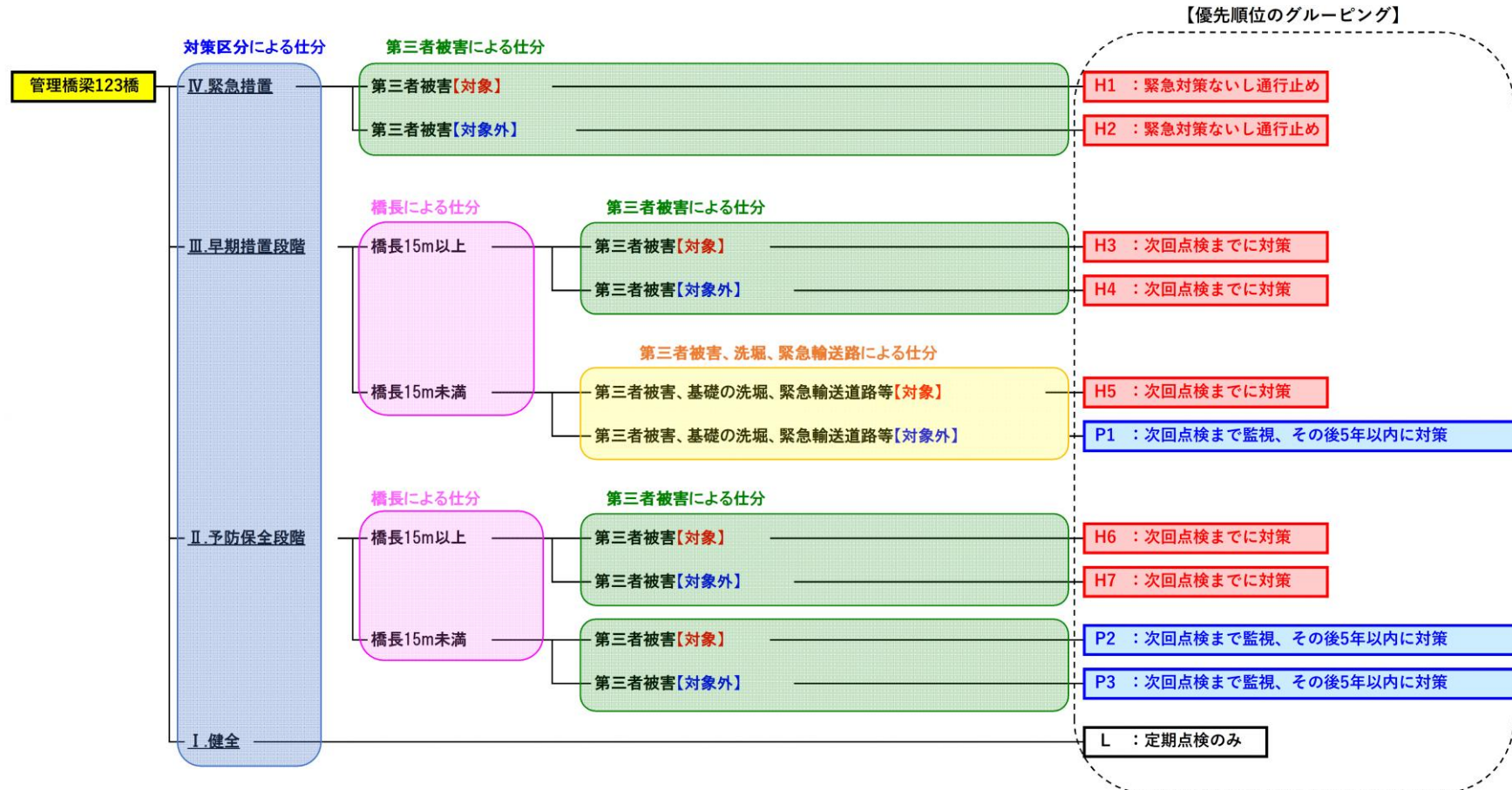
※対策：補修・補強、撤去を指す。なお、緊急に対策を行えない場合は通行規制・通行止めとします。

※監視：当面对策の適応を見送ると判断された損傷に対し、変状の挙動について追跡的に把握します。

（熊本県橋梁長寿命化修繕計画 R4.2 より抜粋）

次ページに優先順位のフロー図を記載します。

優先順位のフロー図



5.個別橋梁の修繕計画一覧

点:点検 設:補修設計 工:補修工事

NO	橋梁名	橋長(m)	全幅員(m)	架設年次(年)	ブルーミング	点検結果			想定対策工	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
		構造形式		供用期間(年)		健全度	年度	次回											
1	ヒムキバシ	17.5	3.8	1964	H4	Ⅲ	H30	R5	ひびわれ補修工、断面修復工、橋面防水工、表面含浸工		点	設		工		点			
	日向橋	C単純T桁+RC単純床版橋		58															
2	ナナタバシ	36.0	4.0	1990	H4	Ⅲ	H29	R5	ひびわれ補修工、断面修復工、橋面防水工、表面含浸工	点		設		工	点				
	七滝橋	PC床版橋		32															
3	タミズバシ	14.4	2.3	1953	H5	Ⅲ	H30	R5	ひびわれ補修工、断面修復工、橋面防水工、表面含浸工	点			設	工		点			
	足水橋	RC単純床版橋		69															
4	カミタノハシ	34.1	6.0	1977	H8	Ⅱ	H27	R7	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工			設	点	工				点	
	上高野橋	PCスラブ桁橋		45															
5	ヒルオハシ	28.7	4.5	1981	H8	Ⅱ	H27	R7	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工			設	点	工				点	
	屋尾橋	PCスラブ桁橋		41															
6	ハクアイハシ	23.5	4.0	1964	H8	Ⅱ	H30	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工			点・設		工			点		
	吐合橋	RC2径間連続T桁橋		58															
7	イシマタバシ	19.9	3.3	1968	H8	Ⅱ	H30	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工	工	点					点			
	石間田橋	RC3径間連続床版橋		54															
8	タムシハシ	52.3	4.0	1971	H8	Ⅱ	H29	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工、鋼補修工	点・工					点				
	玉虫橋	RC床版鋼I桁橋		51															
9	ゴウシキハシ	35.0	5.6	1972	H8	Ⅱ	H30	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工、鋼補修工	工	点					点			
	川鳴橋	鋼2径間単純I桁橋		50															
10	イチノセハシ	15.9	3.6	1973	H8	Ⅱ	H30	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工	工	点					点			
	一の瀬橋	3径間RC単純床版橋		49															
11	シモタノハシ	35.6	4.5	1974	H8	Ⅱ	H29	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工	点・工					点				
	下高野橋	PC床版橋		48															
12	アマキバシ	44.4	6.0	1974	H8	Ⅱ	H29	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工	点・工					点				
	甘木橋	ポステンT桁橋		48															
13	オチアイバシ	28.3	9.1	1977	H8	Ⅱ	H30	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工	設	点・工					点			
	落合橋	PC単純がスレT桁橋		45															
14	ヨシムタバシ	15.5	7.0	1980	H8	Ⅱ	H30	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工、鋼補修工	設	点・工					点			
	吉無田橋	鋼単純H桁(非合成)		42															
15	ヤセバシ	38.0	5.0	1983	H8	Ⅱ	H30	R5	ひびわれ補修工、断面修復工、橋面防水工、表面含浸工	設	点・工					点			
	八勢橋	PC単純がスレT桁橋		39															
16	マツノハエハシ	29.3	3.5	1990	H8	Ⅱ	H30	R5	ひびわれ補修工、断面修復工、橋面防水工、表面含浸工	設	点・工					点			
	松の生橋	PCポステン単純中空床版橋		32															
17	シンヒムキハシ	49.0	10.0	2009	H8	Ⅱ	H29	R5	ひびわれ補修工、断面修復工、橋面防水工、表面含浸工	点・設	工				点				
	新日向橋	ポステン中空床版橋		13															
18	コガワノバシ	5.6	2.6	1965	H6	Ⅲ	H30	R5	ひびわれ補修工、断面修復工、橋面防水工、表面含浸工		点					点			
	小川野橋	RC中実床版橋		57															

NO	橋梁名	橋長(m)	全幅員(m)	架設年次(年)	グループ	点検結果			想定対策工	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
		構造形式		供用期間(年)		健全度	年度	次回											
19	フキノセバシ	5.1	2.8	1965	H6	Ⅲ	H30	R5	ひびわれ補修工、断面修復工、橋面防水工、表面含浸工		点		工			点			
	吹野瀬戸橋	RC中実床版橋		57															
20	ムカエマチバシ	3.5	4.6	1969	H6	Ⅲ	H30	R5	ひびわれ補修工、断面修復工、橋面防水工、表面含浸工		点		設	工		点			
	迎町橋	RC単純床版橋		53															
21	トヨシマシ	5.4	3.4	1969	H6	Ⅲ	H30	R5	ひびわれ補修工、断面修復工、橋面防水工、表面含浸工		点		設	工		点			
	豊島橋	RC中実床版橋		53															
22	ムメキョウ230-6	5.2	3.6	1969	H6	Ⅲ	H30	R5	ひびわれ補修工、断面修復工、橋面防水工、表面含浸工		点		設	工		点			
	無名橋（230-6）	RC単純T桁橋		53															
23	ムメキョウ214-3	4.8	2.9	1969	H6	Ⅲ	H30	R5	ひびわれ補修工、断面修復工、橋面防水工、表面含浸工		点		工			点			
	無名橋（214-3）	RC単純床版橋		53															
24	フジキバシ	3.7	3.4	1969	H6	Ⅲ	H30	R5	ひびわれ補修工、断面修復工、橋面防水工、表面含浸工		点		設	工		点			
	藤木橋	RC中実床版橋		53															
25	コガネバシ	3.5	2.8	1969	H6	Ⅲ	H30	R5	ひびわれ補修工、断面修復工、橋面防水工、表面含浸工		点		設	工		点			
	小眼鏡橋	石橋(アーチ)		53															
26	ナカハタバシ	3.1	3.7	1969	H6	Ⅲ	H30	R5	ひびわれ補修工、断面修復工、橋面防水工、表面含浸工		点		設	工		点			
	中辺田見橋	石橋(アーチ)		53															
27	ムメキョウ73	2.0	5.0	1969	H6	Ⅲ	H30	R5	ひびわれ補修工、断面修復工、橋面防水工、表面含浸工		点		工			点			
	無名橋（73）	RC中実床版橋		53															
28	ハツチョウバシ	10.7	3.0	1971	H6	Ⅲ	H30	R5	ひびわれ補修工、断面修復工、橋面防水工、表面含浸工、鋼補修工		点		工			点			
	八丁橋	鋼単純H桁(非合成)橋		51															
29	フクラバシ	11.5	4.6	1938	P2	Ⅱ	H30	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工		点	設	工			点			
	福良橋	RC単純T桁橋		84															
30	モシヨウジバシ	2.8	3.3	1953	P2	Ⅱ	H30	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工		点	設	工			点			
	茂生寺橋	RC中実床版橋		69															
31	ウリヤマバシ	4.2	4.5	1957	P2	Ⅱ	H30	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工		点	設	工			点			
	瓜山橋	RC単純床版橋		65															
32	ヤグチバシ	9.0	2.7	1964	P2	Ⅱ	H30	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工		点	設	工			点			
	矢口橋	PCプレテン単純T桁橋		58															
33	ムラシタバシ	6.6	3.6	1966	P2	Ⅱ	H30	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工		点	設	工			点			
	村下橋	RC単純床版橋		56															
34	カカリバシ	6.5	3.3	1967	P2	Ⅱ	H30	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工		点	設	工			点			
	中入橋	PC単純スラブ桁橋		55															
35	サンゾウバシ	3.6	5.0	1969	P2	Ⅱ	H30	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工		点	設	工			点			
	三蔵橋	ボックスカルバート+橋梁部		53															
36	ムメキョウ157	8.4	4.5	1969	P2	Ⅱ	H29	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工	点		設	工		点				
	無名橋（157）	PCスラブ桁橋		53															
37	ムメキョウ121	7.5	2.5	1969	P2	Ⅱ	H30	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工		点	設	工			点			
	無名橋（121）	RC単純床版橋		53															

NO	橋梁名	橋長(m)	全幅員(m)	架設年次(年)	グループ	点検結果			想定対策工	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
		構造形式		供用期間(年)		健全度	年度	次回											
38	ムメイキョウ72-2②	5.4	2.3	1969	P2	Ⅱ	H30	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工		点	設	工			点			
	無名橋（72-2）②	RC中実床版橋		53															
39	ダ イチアサマハ シ	4.4	3.0	1969	P2	Ⅱ	H30	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工		点	設	工			点			
	第一浅間橋	RC単純床版橋		53															
40	ムメイキョウ334-2	4.3	3.6	1969	P2	Ⅱ	H30	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工		点	設	工			点			
	無名橋（344-2）	RC中実床版橋		53															
41	ムメイキョウ322-1	4.2	6.5	1969	P2	Ⅱ	H30	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工		点	設	工			点			
	無名橋（322-1）	RC中実床版橋		53															
42	シモチハ シ	4.0	3.7	1969	P2	Ⅱ	H27	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工			設	点	工				点	
	下道橋	RC溝橋(BOXカルバート)		53															
43	ムケキョウ6-2	3.7	3.0	1969	P2	Ⅱ	H30	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工		点	設		工		点			
	無名橋（6-2）	RC中実床版橋		53															
44	ムメイキョウ80-1	3.1	6.5	1969	P2	Ⅱ	H30	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工		点	設		工		点			
	無名橋（80-1）	RC単純床版橋		53															
45	ムメイキョウ203-3	3.0	4.1	1969	P2	Ⅱ	H27	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工			設	点	工				点	
	無名橋（203-3）	RC中実床版橋		53															
46	ムメイキョウ215-1	3.0	7.2	1969	P2	Ⅱ	H30	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工		点	設		工		点			
	無名橋（215-1）	RC単純床版橋		53															
47	ケカッタ ハ シ	2.8	2.6	1969	P2	Ⅱ	H30	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工		点	設		工		点			
	毛刈田橋	石橋(アーチ)+ボックス橋		53															
48	ムメイキョウ212-1	2.5	3.6	1969	P2	Ⅱ	H30	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工		点	設		工		点			
	無名橋（212-1）	RC中実床版橋		53															
49	ムメイキョウ80-2	2.5	4.5	1969	P2	Ⅱ	H30	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工		点	設		工		点			
	無名橋（81-2）	RC単純床版橋		53															
50	ムメイキョウ237-1	2.4	10.9	1969	P2	Ⅱ	H30	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工		点	設		工		点			
	無名橋（237-1）	RC単純床版+ボックス橋		53															
51	マト コロハシ	14.4	3.5	1970	P2	Ⅱ	H30	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工		点	設		工		点			
	間所橋	2径間RC単純床版橋		52															
52	ダ イチアマガ セハシ	6.0	4.0	1970	P2	Ⅱ	H30	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工		点	設		工		点			
	第一天ヶ瀬橋	RC単純床版橋		52															
53	ダ イサンアマガ セハシ	5.5	3.6	1970	P2	Ⅱ	H30	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工		点	設		工		点			
	第三天ヶ瀬橋	RC単純床版橋		52															
54	ダ ニアマガ セハシ	4.0	3.6	1970	P2	Ⅱ	H30	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工		点	設		工		点			
	第二天ヶ瀬橋	RC中実床版橋		52															
55	ムメイキョウジ ャン スティマエハシ	8.3	12.6	1971	P2	Ⅱ	H30	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工		点	設		工		点			
	無名橋（陣バス停前）	RC単純中空床版橋		51															
56	ムメイキョウキ/クラショウガ ッコウハシ	7.3	4.7	1971	P2	Ⅱ	H30	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工		点	設			工	点			
	無名橋（木倉小学校前）	RC単純T桁橋		51															

NO	橋梁名	橋長(m)	全幅員(m)	架設年次(年)	グループ	点検結果			想定対策工	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
		構造形式		供用期間(年)		健全度	年度	次回											
57	ワセバシ	6.0	3.7	1971	P2	Ⅱ	H30	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工		点	設			工	点			
	渡瀬橋	RC単純床版橋		51															
58	オヒラバシ	13.5	2.2	1972	P2	Ⅱ	H30	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工		点	設			工	点			
	大平橋	H形鋼(不明)・PC桁橋		50															
59	ゴケバシ	10.0	3.6	1972	P2	Ⅱ	H30	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工		点	設			工	点			
	五ヶ瀬橋	PC単純スラブ桁橋		50															
60	ウワイトウバシ	5.2	2.4	1973	P2	Ⅱ	H30	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工		点	設			工	点			
	上岩屋堂橋	RC中実床版橋		49															
61	タヤマバシ	4.4	3.0	1973	P2	Ⅱ	H30	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工		点	設			工	点			
	高山橋	RC中実床版橋		49															
62	ダイザメハシ	8.6	2.9	1974	P2	Ⅱ	H30	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工		点	設			工	点			
	第一座女木橋	2径間RC単純床版橋		48															
63	ダイザメハシ	7.0	3.0	1974	P2	Ⅱ	H30	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工		点	設			工	点			
	第二座女木橋	RC単純床版橋		48															
64	ムメキョウミツタマエハシ	6.3	4.0	1974	P2	Ⅱ	H30	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工、鋼補修工		点	設			工	点			
	無名橋(光多前)	鋼単純I桁橋		48															
65	チカイハシ	12.6	4.0	1975	P2	Ⅱ	H30	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工		点	設			工	点			
	力石橋	PCブレンデン単純床版橋		47															
66	カウメバシ	8.4	3.5	1975	P2	Ⅱ	H30	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工		点	設			工	点			
	上梅木橋	PC単純スラブ桁橋		47															
67	ショウタハシ	8.2	3.0	1975	P2	Ⅱ	H30	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工		点	設			工	点			
	庄溝田橋	RC単純床版橋		47															
68	イヒツバシ	11.0	3.0	1989	P2	Ⅱ	H30	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工		点	設			工	点			
	石櫃橋	PC単純スラブ桁橋		33															
69	ハクアイハジミコシ	9.0	3.6	1989	P2	Ⅱ	H30	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工		点	設			工	点			
	吐合橋(水越)	PC単純スラブ桁橋		33															
70	アケメハシ	12.9	4.0	1990	P2	Ⅱ	H30	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工		点	設			工	点			
	明目野橋	PC単純スラブ桁橋		32															
71	ムメキョウ334-13	2.9	9.1	2003	P2	Ⅱ	H30	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工		点	設				点・工			
	無名橋(334-13)	RCボックス(2.9×0.9)橋		19															
72	ムメキョウ237-2	5.6	20.2	2009	P2	Ⅱ	H30	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工		点	設				点・工			
	無名橋(237-2)	ボックスカルバート橋		13															
73	メキバシ	3.1	19.1	2012	P2	Ⅱ	H30	R5	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工		点	設				点・工			
	目拔橋	RCボックス(2.7×1.5)橋		10															
74	コウコハシ	2.5	6.9	1969	L	Ⅰ	H27	R7	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工				点					点	
	高校橋	ボックスカルバート橋		53															
75	ムメキョウ131-1	3.6	5.6	1969	L	Ⅰ	H27	R7	橋面防水、表面含浸、ひびわれ補修工				点					点	
	無名橋(131-1)	RC溝橋(BOXカルバート)		53															

NO	橋梁名	橋長(m)	全幅員(m)	架設年次(年)	ブルーベジグ	点検結果			想定対策工	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
		構造形式		供用期間(年)		健全度	年度	次回											
76	ムメイキョウ22-1	2.7	7.5	1969	L	I	H27	R7	-				点					点	
	無名橋 (226-1)	RC溝橋(BOXカルバート)		53															
77	ムメイキョウ76	2.5	6.6	1969	L	I	H27	R7	-				点					点	
	無名橋 (76)	RC溝橋(BOXカルバート)		53															
78	オザカドウキョウ	28.6	10.8	1992	L	I	H27	R7	-				点					点	
	小坂跨道橋	PCボステン中空床版橋		30															
79	ツルカメハシ	29.4	5.0	1996	L	I	H27	R7	-				点					点	
	鶴亀橋	PCボステン中空床版橋		26															
80	モンゼンバシ	8.3	5.1	2007	L	I	H27	R7	-				点					点	
	門前橋	ボックスカルバート橋		15															
81	ニタハシ	5.6	6.0	2009	L	I	H27	R7	-				点					点	
	二只橋	RC溝橋(BOXカルバート)		13															
82	ムメイキョウ72-2①	3.4	15.0	2011	L	I	H27	R7	-				点					点	
	無名橋 (72-2) ①	ボックスカルバート橋		11															
83	ロウチョウマシ	3.4	19.2	2012	L	I	H27	R7	-				点					点	
	六丁目橋	ボックスカルバート橋		10															
84	ヨツミヤバシ	28.5	3.1	1934	L	IV	R4	R6	-	点・工					点				
	四宮橋	RCT桁橋		88															
85	アキタバシ	60.4	8.0	1974	L	IV	H28	R8	-					点					点
	秋只橋	ボステン中空床版橋		48															
86	オザカバシ	115.2	7.8	1976	L	I	R1	R6	-			点					点		
	小坂橋	ボステンT桁橋		46															
87	ハチリュウバシ	95.5	4.5	1978	L	I	R1	R6	-			点					点		
	八竜橋	PCボステンT桁橋		44															
88	タカワハシ	115.8	6.5	1979	L	I	R1	R6	-			点					点		
	滝川橋	ボステンT桁橋		43															
89	ミフネハシ	93.7	8.5	1991	L	I	R1	R6	-			点					点		
	御船橋	PCボステンT桁橋		31															
90	オモイデハシ	86.4	4.0	1991	L	I	H28	R8	-					点					点
	思い出橋	PCボステンT桁橋		31															
91	ゴアンバシ	103.5	6.5	1993	L	I	R1	R6	-			点					点		
	五庵橋	PCボステンT桁橋		29															
92	キタノハシ	31.0	3.0	2005	L	I	R1	R6	-			点					点		
	北園橋	ボステン中空床版橋		17															
93	シモツルバシ	24.9	5.0	1886	L	I	H30	R5	-		点					点			
	下鶴橋	石橋		136															
94	フキバシ	8.1	2.6	1886	L	I	H30	R5	-		点					点			
	吹野橋	石橋		136															

NO	橋梁名	橋長(m)	全幅員(m)	架設年次(年)	グループ	点検結果			想定対策工	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
		構造形式		供用期間(年)		健全度	年度	次回											
95	ウトバシ	5.2	4.6	1938	L	I	H30	R5	-		点						点		
	宇戸橋	RC単純床版橋		84															
96	イナモトバシ	6.2	4.0	1953	L	I	H30	R5	-		点						点		
	井桶ノ元橋	RC単純床版橋		69															
97	ドロバシ	25.5	2.7	1965	L	I	H30	R5	-		点					点			
	泥橋	RCT桁橋・RC溝橋(BOXカルバート)		57															
98	ナガハエバシ	4.7	2.8	1969	L	I	H30	R5	-		点					点			
	長生橋	RC中実床版橋		53															
99	ムメキョウ27-4	4.5	6.1	1969	L	I	H30	R5	-		点					点			
	無名橋 (27-4)	RC単純床版橋		53															
100	ムメキョウ221-7	3.1	4.2	1969	L	I	H30	R5	-		点					点			
	無名橋 (221-7)	RC中実床版橋		53															
101	アサヤブバシ	11.8	3.6	1972	L	I	H30	R5	-		点					点			
	浅の薮橋	鋼単純I桁橋		50															
102	タムカエバシ	4.8	2.7	1974	L	I	H30	R5	-		点					点			
	田迎橋	RC単純床版橋		48															
103	ナカハバシ	8.5	3.6	1975	L	I	H30	R5	-		点					点			
	中畑橋	RC単純床版橋		47															
104	キョウエイバシ	6.2	3.1	1975	L	I	H30	R5	-		点					点			
	共栄橋	RC単純床版橋		47															
105	ナガサキバシ	30.0	3.0	1976	L	I	H30	R5	-		点					点			
	長崎橋	PC単純ボックスT桁		46															
106	ヲダラシ	8.7	4.1	1977	L	I	H30	R5	-		点					点			
	をだら橋	PCブレンデン単純床版橋		45															
107	カワカドバシ	13.1	5.0	1979	L	I	H30	R5	-		点					点			
	川角橋	RC単桁T形・PCトラス単桁T形橋		43															
108	モミジバシ	12.3	8.0	1980	L	I	H30	R5	-		点					点			
	紅葉橋	PCブレンデン単純床版橋		42															
109	オサダニバシ	6.8	3.0	1988	L	I	H30	R5	-		点					点			
	小迫谷橋	RC中実床版橋		34															
110	シミスバシ	19.0	7.0	1989	L	I	H30	R5	-		点					点			
	清水橋	PCブレンデン単純T桁橋		33															
111	エノギノバシ	10.4	3.0	1989	L	I	H30	R5	-		点					点			
	榎園橋	PC単純スラブ桁橋		33															
112	マエダバシ	38.5	3.0	1990	L	I	H29	R5	-		点					点			
	前田橋	ボステン箱桁橋		32															
113	カワチダバシ	12.9	4.0	1990	L	I	H30	R5	-		点					点			
	川内田橋	PC単純スラブ桁橋		32															

NO	橋梁名	橋長(m)	全幅員(m)	架設年次(年)	グループ	点検結果			想定対策工	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
		構造形式		供用期間(年)		健全度	年度	次回											
114	ミヤハラバシ	6.5	5.0	1992	L	I	H30	R5	-		点					点			
	宮の原橋	PC単純スラブ桁橋		30															
115	ミヤハラバシ	8.9	25.9	1995	L	I	H30	R5	-		点					点			
	三ヶ原橋	ボックスカルバート橋		27															
116	カガシラバシ	6.2	4.2	2010	L	I	H30	R5	-		点					点			
	川頭橋	RC中実床版橋		12															
117	タオハシ	75.0	12.5	1992	P2	II	R3	R8	ひびわれ補修工、断面修復工、橋面防水工		設		点・工						点
	滝尾橋	PC3径間単純ポストテンT桁橋		30															
118	サメオオハシ	313.0	10.0	2003	L	I	R3	R8	-					点					点
	座女木大橋	PC4径間連続ラーメン箱桁橋		19															
119	ヤカカワニジノオハシ	274.0	10.0	2003	L	I	R3	R8	-					点					点
	矢形川虹の大橋	鋼上陸式アーチ橋+単線既付		19															
120	オガハチリュウセンボックスバシ	-	-	2022	L	-	R4	R8	-	点					点				
	小坂八竜線ボックス橋	PCボックス		0															
121	ハチリュウタカノセンボックスバシ	-	-	2022	L	-	R4	R8	-	点					点				
	八竜下高野線ボックス橋	PCボックス		0															
122	オガハチリュウニゴウセンボックスバシ	-	-	2022	L	-	R4	R8	-	点					点				
	小坂八竜2号線ボックス橋	PCボックス		0															
123	シモタカノアマガセンボックスバシ	-	-	2022	L	-	R4	R8	-	点					点				
	下高野甘木線ボックス橋	PCボックス		0															